

中野市立博物館 年報 6

2022（令和4）年度

刊行にあたって

博物館運営の年度ごとの状況に関しては、従来から年刊の「教育要覧」等で記録化してきている。これらは教育委員会所管事業のまとめとして、博物館の社会教育的・統計的側面を主としている。しかし、博物館活動は多方面において過去を継承したうえで、それを新たに発展させることが基礎となっている。そこで従来の不足を補い、将来へ伝えるべきアーカイブとして年報を発刊することにした。できれば、将来、「紀要」的側面も付加して充実をはかりたい。

なお、収蔵資料目録の公開方法は別途考慮している。

< 目 次 >

I	博物館の概要	1
1	沿革	
2	施設概要	
3	館外施設	
	館略図	2
II	組織	3
1	博物館協議会	
2	令和4年度組織・職員	
III	展示	4
1	展示室	
2	水彩画展示室	5
3	企画展	
4	プラネタリウム	
5	エントランス展示	
IV	講座等	6
1	講演会	
2	学芸員講座	
3	市民主体の講座	7
4	館外講座	8
5	体験講座	
V	資料	9
1	収蔵・展示する指定文化財	
2	資料利用	10
VI	運営・利用実績	
1	運営	
2	入館者・利用者	11

I 博物館の概要

1 沿革

一本木公園内の歴史民俗資料館（1981年建築、468㎡）を移転して、2009年4月に市立博物館が発足し、展示室は同5月1日から公開している。

施設は文化公園（都市計画課所管）内の「創造館」（展示・研修・休憩施設、1991年開館）を改修したものである。展示室以外は従前の基本設備を踏襲しており、博物館としての機能面で十分でない点がある。

また、水彩画展示室・展望室・休憩室等はそのまま無料エリアとして受け継ぎ、公園施設としての機能も果たしている。

柳沢遺跡出土品（重要文化財）の受け入れに伴い、2012年から展示室の一部を大改修して保存・展示環境を整え、2014年から指定品の収蔵展示室として公開している。

旧歴史民俗資料館は一本木公園内で美術品等の展示館（文化スポーツ課所管）として利用されている。

2 施設概要

R C 3F 延床面積 2,007.78㎡

展示室 2室 計 594㎡、研修室 3室 計 128㎡、プラネタリウム 133㎡（100席）、収蔵庫 83㎡ 2層（考古・古文書・民俗・歴史資料）、展望室 44㎡（3F）
ほか（次ページ参照）

※ 収蔵庫は展示資料を主に、寄贈・寄託品・県埋蔵文化財センター移譲資料等を収蔵

3 館外施設

・収蔵庫（敷地内） L S 2F 延床面積 119.08㎡

図書資料・文化財行政資料等を収蔵している。

・旧中野高校(仮)

地域住民により収蔵された旧豊井小学校民俗資料館の収蔵資料のほか、旧永田小学校の収蔵資料やその後に博物館が収集した旧永田小学校の収蔵資料を含めた民俗資料を収蔵している。

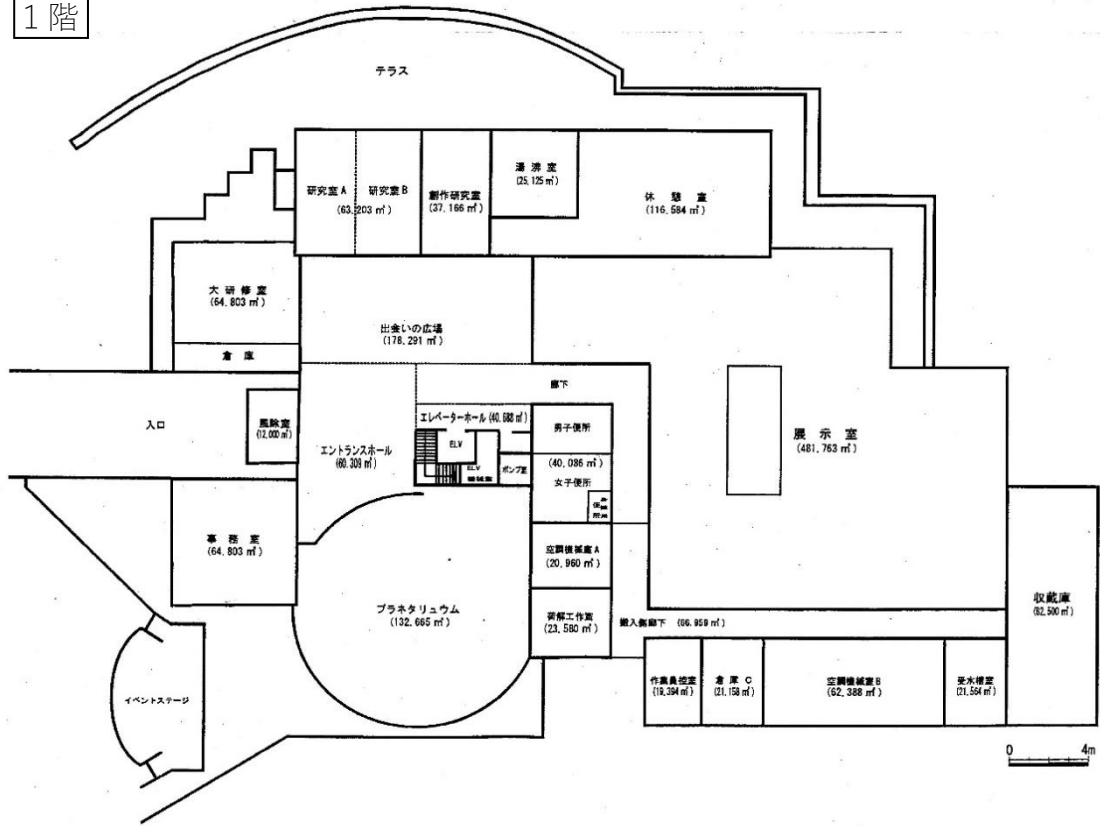
また、2019年まで平野倉庫に収蔵していた埋蔵文化財 1,000箱を収蔵。

・上記のほか、館外収蔵として、

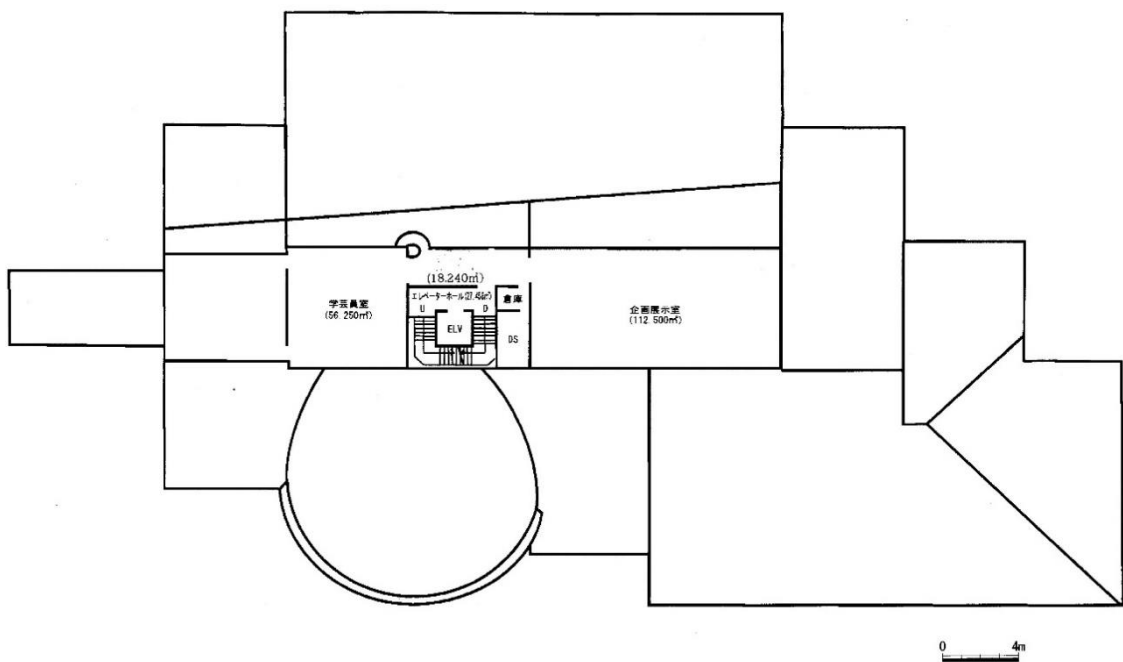
考古資料 2か所（一本木倉庫 300㎡ 埋蔵文化財 5,000箱）

民俗資料 1か所（一本木展示館 民俗資料 1,909点）

1階



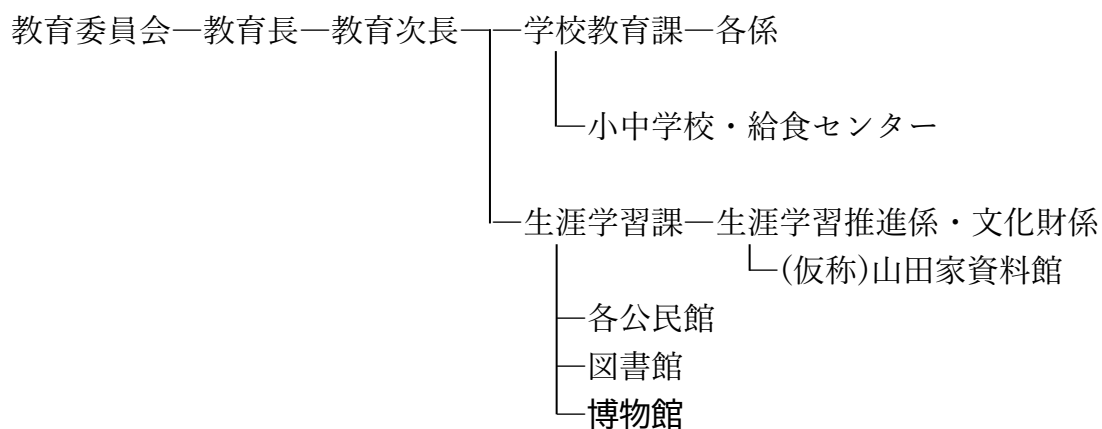
2階



II 組織

- 1 博物館協議会 任期2年（令和4年6月1日～令和6年5月31日）
- 会 長 大西 浩次(長野工業高等専門学校教授) 学識経験者(天文学)
- 会長代理 水澤 教子(長野県立歴史館学芸部総合情報課専門主事兼学芸員)
学識経験者(考古学)
- 委 員 岩戸 貞彦(公募)
- 土屋 積(中野市立博物館 前館長) 学識経験者
- 宮下 宏(信濃教育会教科用図書研究部部長) 学識経験者
- 宮本 博(平野小学校長) 学校教育関係者
- 山崎 圭(中央大学教授) 学識経験者
- 山田 正子(公募)
- 山田 正彦(中野市社会教育委員) 社会教育委員
- 湯本 巖(高井地方史研究会会長) 学識経験者 (50音順)
- ・令和4年8月26日(金) 開催

2 令和4年度組織・職員



館 長 (非常勤)	館林 弘毅
副館長	小林 敬子
主 査	大滝 敦士 (生涯学習課文化財係併任)
学芸員	柳生 俊樹 (生涯学習課文化財係併任)
” (非常勤)	細野 夏未 (文化スポーツ振興課文化振興係・生涯学習課文化財係併任)
一般職 (非常勤)	関 まゆみ



博物館外観

Ⅲ 展示

1 展示室

自然・原始古代・中世・近世・近代・民俗の6コーナー
 柳沢遺跡重要文化財展示収蔵庫・青銅器映像展示
 指定無形民俗文化財映像展示コーナー

展示室実物資料(2023. 3. 31 展示中)

	件	点	指定物件	主内容
自然	47	187		動物剥製・昆虫標本
原始古代	43	586	ナウマンゾウ化石 2(市) 土偶 1(市)・弥生土器 2(市)・ 高遠山 18(県)	化石・土器・石器・金属 器・玉
須恵器窯跡	10	53		須恵器・窯体
中世	16	82	鉦鼓 1(県)・埋納銭容器 1(市)	土器・陶磁器・金属器
近世	13	27		文書・絵図・版本
近代	7	17		彫刻・絵画・焼物
民俗	36	97		民具(生活・生産・信仰)
柳沢展示収蔵庫	7	264	柳沢 212(国)	青銅器・土器・石器・玉
合計	185	1267	238	

2 水彩画展示室

旧創造館では、故西沢今朝夷氏の一括寄贈を受け、水彩画展示室を設置していた。それを受け、年間2回（6月・11月）の展示替で水彩画展示（文化スポーツ課所管）を継続するとともに、他の展示にも一部を利用している。

令和4年度も前年度に引き続き、水彩画展『ふるさとの記憶』のほか、『大西浩次 星景写真展』を実施し、ともに途中入れ替え展示をしている。

無料エリアのため、正確な観覧者数は把握できない。

（水彩画12点・写真7点 2023.3.31 展示中）

3 企画展

・春季企画展『絵地図に見る信州中野』

会 期	4月29日(金)～6月13日(月)
主な展示品	明治初年の中野地域の村絵地図を展示
開館日数	41日
観覧者数	947名

4 プラネタリウム

・年間投影番組

『忍たま乱太郎の宇宙大冒険-月ウサギがクレーターをかけるの段-』	(株)D&D ピクチャー
『アステリアと星の道しるべ』	CLUTCH BASE
『ヤドカリくん、ほしをみに』	CLUTCH BASE
『見えない宇宙に挑む』	(合)アルタイル
『ナナとハチ～ちきゅうにおちてきたネコのものがたり～』	(株)リブラ
『よもやま学園天文部-春・夏・秋・冬・身近な天体たち-各編』	(株)リブラ
『星座解説～春・夏・秋・冬～各編』	(株)リブラ

・デジタル投影ソフト ステラドーム・プロ (株)アストロアーツ

・一般投影

土・日・祝日	1日3回	11:00	13:30	15:00
--------	------	-------	-------	-------

・期間投影

大型連休中	4月30日(土)～5月8日(日)	260名
夏季期間投影	8月11日(木)～8月21日(日)	257名
冬季期間投影	12月24日(水)～1月9日(月)	16名
春季期間投影	3月18日(土)～3月31日(金)	119名

・年間投影日数： 148日 投影回数： 332回

・【後援事業】バラのラブソングコンサート

<プランクリエ・ミュージックアート主催> 3月18日(土) 参加者70人

5 エントランス展示

エントランス活用のひとつとして、幅広い年齢層の来館者に向け民俗資料の展示を行った。実際の資料に触れる展示を展開することで、歴史や民俗への興味・関心を促し、調査・研究、整理、保存のあり方を見直したりする機会とした。

会 期：年7月27日(水)～令和5年3月31日(金)

夏：7月27日(水)～9月30日(木)

秋：10月2日(土)～12月15日(木)

「むかしのくらし」

主な展示品 唐箕、万石通し、背負子、ワラグツ、桑爪、スクラ織機、桑こき機、真空管ラジオ、磁石式壁掛電話機、編上靴、山高帽、裱、国民服、押し麦機、綿繰り機、手回し計算機、蓄音機など

冬：12月17日(土)～令和5年3月31日(金)

「灯りと消防」

主な展示品 纏、手榴弾消火器、竜吐水、ランプ、カンテラ、燭台、行灯など

IV 講座等

1 講演会

- 『いちばん遠くの銀河を探そう！～最遠方天体発見の歴史～』
(天文講演会)

講 師： 三澤 透 (信州大学教授)

期 日： 7月30日(土) 20人

- 『16世紀激動の北信濃～おもに中野を中心に～』
(ふるさとレポート発表会記念講演会)

講 師： 村石 正行 (長野県立歴史館 文献史料課長)

期 日： 3月12日(日) 32人

2 学芸員講座

【学芸員と学ぶ講座】

- 『古文書にみる江戸時代の中野』
担 当： 大滝 敦士 主査
4月20日(水)～3月15日(水)
全12回 延べ45人
- 『考古学で探る中野のまちの系譜』
担 当： 柳生 俊樹 学芸員
4月15日(金)～2月17日(金)
全11回 延べ62人

- ・ギャラリートーク 担当：柳生 俊樹(学芸員)
 - 10月 2日(日)『青磁：武家のくらしを彩る唐物』 5人
 - 10月23日(日)『かわらけ：人と人をつなぐ土器』 8人
 - 11月13日(日)『珠州：山のあなたの遠くから』 7人
 - 12月 4日(日)『天目、茶臼、風炉：茶会のあと』 9人

3 市民主体の講座

【みんなで研究コース】

- ・ 『身近な植物から考える中野の自然』
 - 講師： 清水 照雄
 - 4月23日(土)～2月25日(土)
 - 全10回 延べ50人
- ・ 『中野市の野鳥を科学する』
 - 担当： 本村 健(主査・生涯学習課)
 - 4月16日(土)～3月18日(土)
 - 全12回 延べ150人
- ・ 『路傍の石神・石仏を探る(豊田編)』
 - 担当： 大滝 敦士(主査)
 - 5月7日(土)～3月4日(土)
 - 全9回 延べ40人
- ・ 観望会
 - 講師： 信州中野天文同好会
 - 4月30日(土)『春のほしぞらをみよう!』 35人
 - 7月30日(土)『夏のほしぞらをみよう!』 20人
 - 11月8日(火)『皆既月食を観察しよう!』 52人
 - 3月25日(土)『早春のほしぞらをみよう!』 15人
- ・ ふるさとレポート発表会
 - 3月12日(日) 32人
 - 第1部 成果発表
 - 『繁殖期チョウゲンボウの行動時間配分における、集団営巣サイズ、天敵および餌環境に対する利益とコスト』
 - 本村 健(主査・生涯学習課)
 - 『豊田地区の石造文化財』
 - 大滝 敦士(主査)
 - 『やはり鴨ヶ獄城・鎌ヶ獄城は詰め城なのか～中野市内の中世城館遺跡研究の課題～』
 - 柳生 俊樹(学芸員)
 - 『民俗資料の活用について－企画展示を中心に－』細野 夏未(学芸員)
 - 『文化公園の植物群落の解析』(博物館講座：身近な植物から考える中野市の自然)

湯本明雄（講座参加者）

『中野市における渡り鳥の渡来渡去時期について』

（博物館講座：中野市の野鳥を科学する） 本村 健(主査・生涯学習課)

第2部 記念講演会【再掲】

『16世紀激動の北信濃～おもに中野を中心に～』

講師： 村石 正行（長野県立歴史館 文献史料課長）

4 館外講座

- ・古文書調査ボランティア育成講座(全15回)

4月14日(木)～11月24日(木) 延べ 30名

担当 大滝主査

会場 (仮称)山田家資料館 <生涯学習課事業>

- ・講師派遣

9月4日(土) 17名

担当 細野夏未(学芸員)

内容 『身近なハーブで染める－ミント－』 <市立図書館創作教室>

9月26日(月) 8名

担当 柳生 俊樹(学芸員)

内容 『高遠山古墳』出前講座 探検クラブ <日野小学校5年生>

12月18日(日) 42名

担当 大滝主査

内容 『中野の支配領主について～江戸時代の代官など～』

<中野市誌を読む会公開講座>

2月16日(木) 17名

担当 大滝主査

内容 『江戸時代の中野』 <信州なかの産業観光公社主催講演会>

5 体験講座

【キッズ・アカデミー】 合計 参加者83名 付添13名

<電子科学系>

- ・こどもパソコン「IchigoJam」をつくってみよう！

8月20日(土) 参加者5名 付添3名

- ・電子ゴマをつくろう！

12月17日(土) 参加者8名

- ・目指そう未来のロボット戦士－ロボット入門－(連続5回)

7月31日(日)・8月1日(月)・3日(水)・4日(木)・5日(日)

延べ参加者46名 付添10名

3月20日(月)・21日(火)・22日(水)・23日(木)・24日(金)

延べ参加者24名

<自然・文化系>

- ・植物で染めるーサクラー
5月29日(日) 参加者10名 付添6名
 - ・ちいさな円筒埴輪をつくろう
6月19日(日) 参加者5名 付添5名
 - ・植物で染めるー藍の生葉ー
7月18日(月) 参加者8名 付添3名
9月3日(土) 参加者2名
 - ・植物からつくる絵具ーうちわに描こうー
9月23日(金) 参加者2名 付添3名
 - ・年賀状用!ステンシルづくり
11月27日(日) 参加者3名 付添1名
 - ・植物で染めるークリのイガー
12月18日(日) 参加者5名 付添2名
 - ・星空 Study☆キッズー冬の星座編ー
12月28日(水)・1月4日(水)・5日(木)
参加者14名
 - ・土偶・土器片マグネットづくり
1月29日(日) 参加者2名 付添1名
 - ・植物で染めるーウメー
2月26日(日) 参加者10名
 - ・星空 Study☆キッズー春の星座編ー
3月22日(水) 参加者2名
- 【ワークショップ】
- ・勾玉体験 (通年)
合計16日 参加者58名
 - ・勾玉づくり・うちわづくり (文化公園オータムフェア)
10月10日(月) 参加者19名

V 資料

1 収蔵・展示する指定文化財

- ・国重要文化財 『柳沢遺跡出土品』 (銅鐸・銅戈等212点)
- ・長野県宝 『高遠山古墳出土品』 (銅剣・銅鏃等)
『鉦鼓』
- ・市指定有形文化財 『土偶』 (1点)
『弥生式土器』 (1点)
『ナウマン象臼歯』 (2点)
『埋納銭及び埋納銭容器』 (銭・木箱・珠洲焼甕等)

『中野町製糸場水車器械略図』

- ・ 出土品・映像等を収蔵・展示する指定文化財
 - 国史跡 高梨氏館跡
 - 国天然記念物 十三崖のチョウゲンボウ繁殖地
 - 県史跡 栗林遺跡
 - 中野県庁(陣屋)跡
 - 高梨氏城跡(鴨ヶ岳城)
 - 七瀬双子塚古墳
 - 高遠山古墳
 - 市史跡 林畔1号古墳
 - 建応寺跡
 - 金鎧山古墳
 - 市無形民俗文化財 小内八幡神社青獅子 (安源寺)
 - 日和山神社鬼獅子 (草間)
 - 上今井諏訪社太々神楽
 - 赤岩の宣澄踊り
 - 餅かえ行事 (小沼)
 - 赤岩の太々神楽 (高杜神社)
 - 新野の式三番叟 (新野神社)
 - 松川の川崎踊り
 - 大俣の水神祭

2 資料利用

- ・ 貸出
なし
- ・ 掲載等
なし
- ・ 閲覧
なし

VI 運営・利用実績

1 運営

- ・ 開館時間 9時～17時 (4月～11月)
10時～16時 (12月～3月)
- ・ 休館日 毎週火曜日(祝日は開館)
年末年始(12月29日～1月3日)
- ・ 年間開館日数 310日

※3/6～17の開館日10日間、展示替えにより常設展示室を休室

- ・年間休館日数 55日
- ・観覧料
 - 常設展示室 一般300円(団体240円) 高校生以下150円(団体120円)
 - プラネタリウム 一般600円(団体480円) 高校生以下300円(団体240円)
 - 共通券 団体料金に準じる
 - ※ 未就学児、市内小中学生・70歳以上 無料
- ・広報なかの『博物館だより』 4月号～3月号
 - 全戸配布
 - 館行事の広報等
- ・キッズアカデミーチラシ 4月～3月
 - 市内小学校及び各施設配布
 - キッズアカデミーの案内募集等

2 入館者・利用者 (4月1日～3月31日 開館：310日)

・常設展示室	3,450人
・プラネタリウム	2,941人
・研修室(貸館)	0人
・講座・講演等	683人
・無料スペース	2,212人
合計	9,286人

中野市立博物館 年報 6

2022（令和4）年度

〒383-0046

長野県中野市片塩1221（北信濃ふるさとの森文化公園内）

TEL・FAX 0269-22-2005

<https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/hakubutukan/>

Email hakubutsukan@city.nakano.nagano.jp

2023（令和5）年4月30日発行